

4月20日「食品に関するリスクコミュニケーション(米国产牛肉輸入問題に関する意見交換会)」アンケート集計表

(福岡会場)

出席人数: 143 有効回答: 76 回答率: 53%

問1 あなたはどのような立場で参加しましたか。

	1 消費者団体	2 食品関連事業者(団体を含む)	3 生産者(団体を含む)	4 主婦	5 学生	6 無職	7 地方自治体職員	8 国家公務員	9 その他	* 未記入
問1	20	20	5	4	0	3	18	2	3	1
高校大学講師・生協・HACCP SQF コンサルタント										

問2 本日の意見交換会の開催を、どのような方法で知りましたか。

	1 厚生労働省・農林水産省のHP(報道発表資料)、配布物	2 厚生局・農政局のHP、配布物	3 農政事務所のHP、配布物	4 その他の行政機関のHP、配布物	5 メールマガジン	6 新聞、雑誌等	7 所属団体からの連絡	8 その他	* 未記入
問2	16	4	9	3	1	5	36	4	0
納入業者からの紹介・全国焼肉協会・テレビのニュース									

問3 開催を知って何日後に参加することを決めましたか。

	1 (3日以内)	2 (4日～7日)	3 (8日～11日)	4 (12日～15日)	5 (16日以上)	* 未記入
問3	57	7	2	3	0	7

問4 前半に行った行政からの説明についておたずねします。

問4-1 説明内容について理解できましたか。

	1 理解できた	2 おおむね理解できた	3 どちらでもない	4 あまり理解できなかった	5 理解できなかった	* 未記入
問4-1	17	46	6	4	1	2

問4-2 提示したスライド資料の内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問4-2	17	45	9	1	2	2

問4-3 説明者の説明内容はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問4-3	17	41	11	2	1	4

問5 後半に行った会場出席者間の意見交換についておたずねします。

問5-1 司会者の進行は適切でしたか。

	1 適切だった	2 おおむね適切だった	3 どちらでもない	4 あまり適切ではなかった	5 適切ではなかった	* 未記入
問5-1	17	37	10	7	2	3

問5-2 質問者に対する行政からの説明はわかりやすかったですか。

	1 わかりやすかった	2 おおむねわかりやすかった	3 どちらでもない	4 ややわかりにくかった	5 わかりにくかった	* 未記入
問5-2	9	43	11	7	1	5

問5-3 様々な立場の方がお互いに広く意見交換できていましたか。

	1 できていた	2 おおむねできていた	3 どちらでもない	4 あまりできていなかった	5 できていなかった	* 未記入
問5-3	3	34	17	14	1	7

問5-4 意見交換の時間は十分でしたか。

	1 長かった	2 やや長かった	3 ちょうど良かった	4 ちょうど良かった	5 短かった	* 未記入
問5-4	0	6	33	22	8	7

問5-5 発言者の声はよく聞こえましたか。

	1 聞こえた	2 おおむね聞こえた	3 あまり聞こえなかった	4 聞こえなかった	* 未記入
問5-6	38	26	5	0	7

問6 意見交換会を開催したことを評価しますか。

	1 評価する	2 おおむね評価する	3 どちらでもない	4 あまり評価しない	5 評価しない	* 未記入
問6	23	37	9	2	2	3

問7 日頃からご関心の高いものについて、3つまでご回答下さい。

	1 残留農薬	2 食品添加物	3 動物用抗菌性物質(いわゆる抗生物質等)	4 環境からの汚染物質(カドミウム、メチル水銀、ダイオキシン類)	5 天然毒素(カビ毒等)	6 加工中に生成する汚染物質(アクリルアミド等)	7 家畜の病気(BSE、鳥インフルエンザ等)	8 有害微生物(病原性大腸菌、サルモネラ菌等)	9 遺伝子組換え農作物	10 食品表示	11 トレーサビリティ	12 その他	* 未記入
問7	33	29	9	13	7	6	27	8	14	32	17	2	9

問8 本日の「食品に関するリスクコミュニケーション(米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会)」の感想、その他運営などで、何かお気づきの点や感じたことがございましたらご記入下さい。

問8

これまでのリスクは、農水、厚労、食安委、と会場参加のやりとりという運営になっています。最後の方の発言で、「米国という国に対しての不信任感」親として子供に安全で安心できて、安い牛肉を食べさせてあげたい」という声を受けたリスクが出来るように、中央主催だけでなく、地方主催のリスクでそのような声を受け取れるような場の設定もあればよいと思いました。

質問については、事前にでも受け付けられたいかがですか？少ない時間ですから！！整理が必要だと思いますが！！

あらかじめ質問をFAX等で受けて、回答をするという形をとっても良かった。→現地で現地の意見を聞く時間も必要。

どうして食品安全委員会のプリオン専門調査会の委員さんが6人も突然に辞められたのか？私には何があつて、何がなかったのか真相を知りたい！！質問の時間に、余裕があれば、2回でも質問してもらえようすべきでは！！

①米国のお国柄や検査組織体制(少数の検査、大ざっぱな検査)が見え隠れして、にわかには米国産牛肉の輸入再開には賛成できない！
②米国の政治的圧力は、よく解るが、正論をここは通すべきと思う。
③どの国であれ、リスクから考えれば、牛肉を食べて、新型CJDになるとは思わないが、気分的には、国産牛を選択するのが賢い人である。
④行政が、ここまで今回のような説明会をすべきかどうか疑問である。米国がすべき(自国も含め)。

安心・安全に対する国内での在り方と海外に求める尺度の違いに驚かされることばかりである。日本として、統一したものがなく、内に厳しく(コストアップ)外に甘い。国際競争に勝てるわけがない。

輸入するための意見交換会ではないのか！！米国はすでに輸出準備が出来ているのでは、日本国民の安全が優先。

同様の話を聞いても消費者の理解度はまちまちで、再度リスクコミュニケーションの困難さを認識した。

本質・本音が聞きたかった。再開プロセスのための手続きの感があり、消費者は納得出来ていない。もつと消費者サイドに立った議論が出来る場にして欲しい！！とにかく、今回の話では、消費者は、米国産牛肉を買わないだろう。

日本からの米国認定施設への査察はあるのでしょうか。日本には米国向け輸出施設への査察が年数回実施されていますが。

感想を書くには時間がありません。質問はあらかじめ(受付時)取っていただければ、バランス良く聞きたいことが聞けたと思います。乱筆乱文ですみません。

手が挙がっていた方にも意見を言うていただく時間が欲しかったです。

初めて参加しましたが、出席者からの活発な意見を聞くことができ、有意義だった。様々な情報が氾濫する中、個人によって捉え方が様々。たとえば、「リスクとは」という“そもそも論”から、わかりやすく説明する場をもうけることは必要なのでは？と感じました。

時間のベルの音が心臓に悪いです。意見交換というよりも、現状説明だけのように感じた。片寄った発言もあり、趣旨がずれた場面もあった。

今後の具体的なスケジュールについて、ただ、「決まっていない」という返答では、意見できない。

前回同会場で行われた。リスクのコーディネーターの方のまとめがとて素晴らしいと感じたが、今回は手際悪く感じた。

各質問毎の回答でないと、質問内容を忘れてしまうので、各質問毎の回答が良い。

質問する人のレベルが低すぎる。知識があいまいか、間違っただけで認識している。マスコミなどを使って、正しい情報をもっと流すべきでは？早く米国産牛肉を解禁してください。買うか買わないかは、消費者自身に選択させるべきだと思います。

質問者の意図が分かりにくい。質問項目ごとに分かりやすく質問してほしい。

前半の説明は、今までマスコミ等で伝えられてきたことと変わらない。新しいものはなかった。

早い輸入再開を希望します。

主婦にわかりやすい説明がほしい。

①説明は良く理解出来たが、②説得力に欠ける＝データの不足。③危害分析データが必要である。④事故が起きた時の是正措置を取られているのか。

・意見交換会は、再開が目前にあつての開催ではないか。
・行政・政府の取り組みは、どうみても真剣に取り組まれているとは思えない。表面のとりにくくしおかしな思えない。
・回答の仕方も、手順に沿って進んでいるという回答ばかり。

参加者の知識レベルが、まちまちの中でするので、思うように深く説明を伺う事は出来ませんでした。消費者の思いは、受け止め反映させていたいただきたいと思ひます。意見交換の場も必要ですが、消費者の学習も必要と思ひます。

・日米の認識の違いが問題・・・問題解決ができないなら、輸入肉であることをキチンと消費者に伝えるべき。それによって、消費者が、輸入肉を食べるか判断できるようにしたい。特に、外食産業、加工肉は、明記をお願いしたい。
・関係者(関心ある人)が来る説明会はあまり意味がない。もつと幅広い消費者が参加することは、難しいでしょうね。今日来た人が、輪を広げていくことが大切。

輸出プログラムが遵守されると仮定して進めたことの問題点は変わらないと思う。遵守をどう確認するかが大切であるが、実際、そうできないと証明しただけで、再開は更に大変だと思う。根拠のない安心ルールより本当に安全であることを望みます。

消費者の不信を取り除くために、毅然とした態度で米国と対応して欲しい。意見交換会をもつと増して欲しい。

再開を決める場合には、再度リスクコミュニケーションをお願いいたします。

厚生労働省・農林水産省の皆様には、最後まで日本の要望を妥協することなく、米国に対して求めて頂きたいと思ひます。私たちは日本に生まれて良かったと思ひます。ご苦労が多いと思ひますが、お願いいたします。

・契約を守らない米国に対しては、きちんと対応して頂きたい。
・プリオン専門調査会の退任された方が半数というのは、説明を聞いてもやはりどこか納得はできません。

焼肉店を営業(経営)している者です。長期にわたる輸入禁止により、多大の売上減少、仕入れ肉の高騰、仕入れ肉の品薄等で、大きな被害です。消費者も安く美味しい牛肉を望んでいる。

マイクの音が大きく感度が悪いので、質問、回答とも何をしゃべっているのか判らない所があつた。サラリーマンを定年後、5年が経過します。航空会社社務だったので、食品業界(とりわけ牛肉等)については素人です。質問するには事前に勉強して準備して臨みたいと存じます。マイクの調子が悪かつたと存じます。次回からは感度の良いものを準備して欲しい。

フロアからの発言者には熱心ですが、自分の意見を言うだけで、他からの意見は聞く気がないという方があつたようです。その場合は、早い段階で「後で個別にお話しします」ということにされた方が進行がスムーズだったのでは。

・参加申し込みの連絡が平日にできないのは問題である。
・今回の説明を聞いて、益々米国産牛乳の消費に不安を感じた。
・何故、日本と同等の検査体制を要求しないのか。

韓国が2004年7月にメキシコから輸入した牛肉に米国産牛肉が混入していたという事もあるとの事ですし、EUの欧州食品安全庁がリスク評価で「レベルⅢ」と評価していることもあり、米国以外の国からの輸入も、しっかり監視してもらいたい。米国から、メキシコへ生きた牛が自由に出入りしているとの事ですので、調査してください。また、17年度のメキシコからの輸入量は、4,424.3 t でした。失礼しました。